

公益社団法人 金沢こころの電話

公開講演会2018

参加無料
要申込

《一般市民ができるセルフケアⅠ》

「からだ」から「こころ」に

5/12

働きかけて気持ちを整える

～臨床動作法によるトラウマケアの実際～

日時：2018年5月12日(土) 13:30～15:30

開場 13:00

会場：石川県社会福祉会館大ホール

講師：長谷川 明弘氏 (東洋英和女学院大学准教授)



定員 150名

★会場には駐車場はありません

いつ起こるか分からない災害 不幸にも巻き込まれてしまった事故
そんなときに、人は逃げる(Flight)、闘う(Fight)、またどちらもできないときに、
凍り付いてしまう(Freeze)といった反応をします。

これは生存のための自然な反応ですが、強いストレスが加わると

トラウマを生むメカニズムに置き換わります。それらを解放するための

一つの手段として「からだ」から「こころ」への働きかけを体験的に学びましょう。

実習を行いますので、動きやすい服装でお越し下さい。 実演ボランティア募集予定

講師プロフィール

効果的で効率的な心理学的介入がどのようにしたら可能になるかというブリーフサイコセラピーに焦点づけた研究と実践を進めておられます。2003年から金沢工業大学へ10年間勤務された後、2013年より東洋英和女学院大学に勤務されています。臨床心理士として病院勤務や派遣カウンセラーとして小中学校での相談業務や学童保育への巡回相談に加えて大学での学生相談、また児童相談所や産業領域の相談機関や電話相談の経験もおもちです。著書(分担執筆)に「新時代のやさしいトラウマ治療」(春風社)「臨床動作法の基礎と展開」(コレール社)等があります。

主催 公益社団法人 金沢こころの電話

連絡先 ☎ 921-8155 金沢市本多町3-1-10 ☎ 076-222-7531 Fax 076-222-5352

公益社団法人金沢こころの電話事務局 <http://kkd-ishikawa.jp/soudan>

公益社団法人金沢こころの電話とは

1970年代はじめ、中学生や高校生の自殺が多発しました。それを憂い、若者の心を受け止めたい、救いたいと、自殺予防を目的として昭和50年(1975)年に高校の教師が中心となり金沢こころの電話が発足しました。以降40数年にわたり電話相談を実施しています。現在では、さまざまな悩みを持っている方に対しての心的援助を目的とし、年末年始を除く毎日平日は18:00～、土曜は15:00～、日曜・祝日は9:00～、いずれも23:00まで活動しています(電話受付は22:45まで)。また高齢者および高齢者問題に対応するシルバーこころの電話も併設しています。2012年には、公益社団法人へ移行し、現在は、年間7000件余の電話相談を受けています。

金沢こころの電話第43期電話相談員養成講座受講生募集

金沢こころの電話では、毎年度ボランティア相談員を養成するための「電話相談員養成講座」を開催しています。当日、講演会終了後、「第43期電話相談員養成講座説明会」を開催します。今までに育った相談員は、延701名になります。2018年度も8月21日より第43期電話相談員養成講座を開講いたします。4月9日より7月23日までを受講申込期間とします。お問合せは表面事務局まで。

予告 <一般市民ができるセルフケア II>

「バリデーションへの誘い(いざない)～認知症高齢者への共感と尊厳を」

7月8日(日) 13:30～15:30 石川県社会福祉会館大ホール

講師 都村 尚子氏(関西国際科学大学教授)

.....キリトリ.....

公開講演会2018申込書

FAX 076-222-5352

※FAXの方は切り取らずにお送りください

電話番号 076-222-7531

※平日10:00～17:00の時間におかけ下さい

氏名	ふりがな		
日中連絡可能な 電話番号 or FAX			
区分	一般 ()		賛助会員 ()
参加希望 <small>希望の項目に○を</small>	5 / 12 講演会		養成講座説明会

※定員に達し、ご来場いただけない場合のみご連絡をします

※本申込書の個人情報、講演会開催の目的以外での利用はいたしません

※1枚で複数名の申込も可能です(代表者名を書き、人数を記載のこと)